

愛媛大学
EHIME UNIVERSITY

工学女子時代

愛媛大学工学部はすでに女子が活躍する時代になっている

インフラ・建築・造船・AI・都市
機械・デザイン・情報・計測・航空
通信・ロボット・宇宙
マテリアル
化学・電気など



君は工学部がどんなところか知っているか？



高等学校 等



入試

自分の思いや

将来の進路を思い描きながら

希望する大学を決める

ものづくりに
興味がある

AI を使ってもっと便利な
社会をつくりたい

環境問題を
なんとかしたい

自分の夢を叶えるには
どの学部に進めばいいかな？

災害に負けない
地域づくりをするには？

工学部って就職に強いと
聞きますけど？



愛媛大学 工学部

まずは広く学ぶ

1 年次は「工学共通基礎科目」で工学の基礎を広く学びます。前学期には多様な工学分野の入門的な科目を学ぶ「専門入門科目」を受講。複数の分野の入門的な学びに触れることができるので、自分の興味や適性をじっくりと見つめて、1 年次後学期からのコース配属に備えることができます。

社会に生きる力を養う

3 年次には、「課題解決型実習 (=Project/ Problem Based Learning)」を受講し、異なった専門科目を受講した学生の混成チームで実習を行います。社会の課題解決を意識し、工学倫理や知財、キャリアリテラシー科目などで実社会で生きる力を養います。

グローバル教育

チームティーチングや留学生・海外協定校の学生との意見交換 セミナーなどのカリキュラムを通して、専門的な技術内容を正確に伝えるための英語力やコミュニケーション力、さらには立場の異なる相手と議論できる力などを段階的に身につけ、グローバル社会で活躍できる人材を目指すことができます。

教育コース・プログラム

機械工学コース	(70 名程度)	材料デザイン工学コース	(70 名程度)
知能システム学コース	(20 名程度)	化学・生命科学コース	(90 名程度)
電気電子工学コース	(80 名程度)	社会基盤工学コース	(60 名程度)
コンピュータ科学コース	(40 名程度)	NEW 建築・社会デザインコース	(30 名程度)
応用情報工学コース	(40 名程度)	NEW 海事産業特別コース	(18 名程度)
		デジタル情報人材育成特別プログラム (30 名)	



就職

社会で活躍 企業に就職、公務員として活躍する、起業する…

／さらに専門分野を追究するなら／

愛媛大学 大学院理工学研究科

博士
前期課程



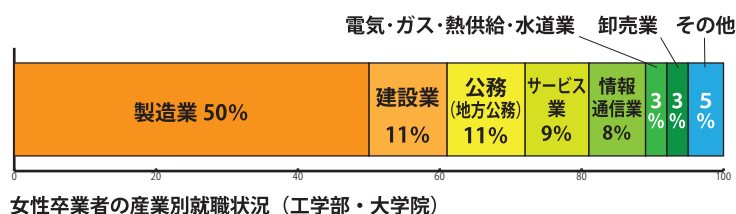
博士
後期課程



就職



就職



あなたの進路はOGの話の中にある！

卒業後はどんな職業に就いているのか？

化学系、機械系などの各種メーカーで研究職に従事したり、公務員として専門知識を活かしながら広く地域に貢献したり、進路はさまざま。次のページから、工学部OGのみなさんにお話を聞いています。工学部に決めたポイントや卒業後の進路について、たくさん紹介しています。



愛媛大学工学部長 森脇 亮

工学部ってどんなことを学べるの？ 将来どんな仕事に就けるの？

皆さん、こんにちは。愛媛大学は夢を追い求める学生たちにとって、広大な可能性が広がっている場所です。しかし、理系の女子学生がまだ少ないという現実があります。このパンフレットは、自分の好きを追い求めてきらきら輝いている工学部女子や卒業生の活躍を広く知ってほしいという思いでまとめました。「女子は文系」という既成のイメージにとらわれず、もっと多彩な道が広がっていることを知ってほしいです。特に工学系分野は未来の技術を築く力を発揮できる場所です。男女問わずに、科学と技術の分野でキャリアを築き、変革を起こす一翼になるでしょう。

私たちと一緒に技術の最前線で活躍する姿を想像してみませんか。

私は今

This is the kind of work I'm doing now.

愛媛大学工学部OGに聞きました。
「今どんな仕事に就いてますか？」

みなさん、好きなこと、楽しいことを工学部で学び、
その延長線上の仕事に就いている。
好きな仕事ができる。社会の役に立つ。そんな気概を感じる。

*取材当時（2023 年冬）の内容を掲載しています。

勤務先：深田サルベージ建設株式会社
東京支社 洋上風力プロジェクト部

工学部機械工学科 2018 年度入学

小林未来さん

環境にやさしい洋上風車をつくっています

私は海や空が大好きです。また、中学高校の頃から環境問題、エネルギー問題に強い興味を抱くようになりました。夢はズバリ「環境保全に携わること」です。

会社では洋上風力発電建設の施工管理を担当しています。洋上風車は、海で四方を囲まれている

日本に適した再生可能エネルギーとして注目の技術です。新しい技術を使って、これまでにないものをつくりだしていく、この仕事にとってもやりがいを感じています。

仕事では、多様な専門分野の人たちとそれぞれの得意分野を活かし助け合っています。機械工学科出身の私は、図面や作業イメージ図を描く際に、大学の CAD 実習で学んだことを活用できています。施工管理の際は、溶接や工具の使用法など現場で目にするのが多い作業を、大学の実習で体験していたことが役立っていると実感します。

機械工学と建設会社は、少しかけ離れたイメージがあるかもしれませんが、工学部では力学の基礎など工学の基礎を低学年でしっかりと学ぶため、違う分野に進んだとしても、仕事に活用できる部分が多く、卒業後の進路の

選択肢がかなり広がると思います。

大学では仲間と助け合い協力して勉強し、理解を深めていきました。先生や研究室の先輩も、質問に丁寧に対応して下さいます。遊びとのメリハリをつけて、勉強する習慣が身についたこともよかったと思います。

工学と聞くと女性が少ないイメージがあるかもしれませんが。私の部署でも女性は 20%に達していませんが、需要は非常に高く、実際に現場で活躍している女性も多く見かけます。女性目線での危険予知、気配りなどは、現場作業を安全且つスムーズに進めるのに役立つと期待されています。

私も工学系に進むと決めた時は不安でしたが、励みになったのは自分が得意な数学や流体力学です。これだけは誰にも負けないくらい得意だとか、好きだと思える科目があると、自信につながるので、中学生・高校生の間に自分はどんなことに興味があるのかを考えておくと良いと思います。



Kobayashi Miku

私が所属する品質保証課では、お客様に製品を届ける前にその安全性などを調べる検査をしています。入社して2年なので、まだまだ学ぶことが多いのですが、いずれは改善案提案の仕事をしていく予定です。海外工場にも一度は赴任してみたいと思っています。

品質保証課は、20人のうち6人が女性で、女性の責任者もいます。またパートで働く16人の方は全員女性なので、女性が多い職場で女性特有の体調不良に共感・理解をしてもらいやすいですし、色々と相談できるのでリラックスして働くことができます。

私は、家族がDIY好きだったこともあり、小さい頃から工作が好きでした。中学・高校時代は、物理も化学も得意ではなかったのですが、実験が好きで、やってみないと結果がどうなるかわからないワクワク感が楽しかったです。

周りの社員は全員理系出身ですが、大学で何を学んできたかは、それぞれ全く違って、材料系だけでなく、機械系や金属系の人もいます。私も大学の専門が仕事に直結しているわけではないですが、大学の研究活動と仕事の進め方は皆似ているので、すぐに理解し合えるのがありがたいです。

工学系は、ものづくりのいろいろな面に触れられます。大学時代には、研究室の先輩たちの就職活動の様子から、社会にはものづくりに関わる仕事がたくさんあることを知りました。工学系は、社会のためにやる仕事であり、製品として目に見える形になるので、やりがいもあります。そこが工学系の魅力だと思います。

先輩の受け売りですが、「ものづくり大日本」を自分たちがもっと盛り上げていくぞ、という意気込みで、仕事をしています。みなさんも、ぜひ一緒に「ものづくり大日本」を盛り上げていきましょう。

世界のものづくりを支えています



Sesaki Ayami

工学部機能材料工学科 2018 年度入学
勤務先：京セラ株式会社 川内工場 機械工具事業本部
川内品質保証課 製品保証係

瀬崎彩美さん

Kobayashi
Mai



小林舞衣さん

理工学研究科物質生命工学専攻
機能材料工学コース 2021 年度入学

勤務先…株式会社神戸製鋼所 (KOBELCO)
鉄鋼アルミ事業部門技術開発センター
線材条鋼開発部 線材加工技術開発室

やりたいことだから楽しめる

私は線材の加工技術開発の仕事をしています。大学で私が所属していた物性制御工学研究室の出身者も多く所属していた、機能材料工学科では、金属だけでなくプラスチック、ガラスなど、多様な材料の基礎を広く学んでいたため、大学の研究室の延長のような職場です。大学時代の研究テーマとは異なる部門ですが、その分野のことなら何でも知っている憧れの上司に鍛えられながら、日々新しいことに挑戦し、「自分もエキスパートになりたい」という気持ちで過ごしています。

技術は日々進歩しますが、最新の技術の発展についていくための研修制度も充実していて、職場の雰囲気も相談しやすいので恵まれていると感じます。希望していた技術開発の仕事を行えることがとても幸せです。

高校進学を考える時期に、これからのエネルギー問題の解決のために、太陽光パネルの普及を促進できるような材料の開発に取り組まれている話を知って、自分も社会の役に立つ研究開発をしたいと

思いました。そして専門的知識を身に付けたくて、高専に入学しました。高専に入ったときは大学進学を考えていなかったのですが、実験や研究の楽しさを知ったので、3年次編入で愛媛大学工学部機能材料工学科へ、そしてさらに、自分の興味関心のあることをしたいという気持ちが高まり、深く学ぶために大学院に進みました。それが、技術開発職への就職につながりました。研究することが本当に楽しいです。

理系は女子が少ないイメージを持っている方も多いと思いますが、おそらくみなさんが思っているより女子も理系に進んでいます。研究室では男女を意識することはほとんどありません。何よりも自分がやりたいことをやる研究室は楽しいです。一番の思い出は、シンガポールの国際学会で発表できたことです。このときは、もっと英語を勉強しておけばよかったと心底思いました。みなさんも、「やりたいことをやる」環境に身をおけるように頑張ってください。

少しでも良いので持つことをお勧めしたいです。可能性に満ちた若い時期に向かいたい方向が分かると、それだけで他者より楽に、有利に進むことができることがあるからです。進みたい道をたくさん見つけてみてください。

虎谷美波さん

理工学研究科

物質生命工学専攻

応用化学コース

2020 年度入学

勤務先…

東洋紡株式会社 総合研究所



Toratani
Minami

好きな仕事に就け、楽しい毎日です

この会社を選んだのは「研究開発がしたかったから」。大学院で学んでいた高分子、ポリマーの研究に、そのまま携わることができています。身近なものでは接着剤や塗料、プラスチックに使われている汎用性の高い材料で、身体に悪いイメージや環境に悪いイメージを持つ人も多いと思いますが、安全性を高くしたり、環境負荷を削減したり、使い勝手をよくしたりするために工夫をするのが、私の仕事です。

入社2年目までは指導員がいて、会社、仕事、技術などしっかり学びますが、3年目からは自立して仕事をするので、今は期待でいっぱいです。10% は自由な実験をしてよいことになっているため、それを活用して新しい製品開発に挑みたいです。

仕事を始めてわかったのですが、海外とのミーティングは英語です。英語は自分の可能性を広げることができるので、聞く、話す、伝える手段として、ぜひ学んでください。

化学領域でも、AI の技術が使われ始めています。情報工学の専門家も必要ですが、「化学 × 情報」を進めるには、互いのことをわ

かっていないといけなないので、化学の専門家側も勉強が必要です。ずっと勉強なんだと実感しています。

中学生の時、理科の授業で洗剤の構造に感動し、化学が好きになりました。大学の研究室に入って、同じ分野を目指す先輩がいて、大好きな化学のディスカッションをできるのがとても楽しかったです。会社に入ってから、周りの方に相談したり、アドバイスをいただいたり、アイデアを言い合えるのが楽しくて、学ぶことが多いです。

職場は、研究職 25 人中 2 人が女性、アシスタント職 40 人中 10 人が女性です。女性も多く、女性に優しいこの会社で、一生働きたいです。

私は空想や妄想するのが好きなのですが、理系では、どうなるか結果がわからないことをお金や装置を使って実験して、試してみることができます。好奇心が強い人、謎解きが好きな人は理系に向いていると思います。

みなさんも自分は何が好きなのかを把握して、自分が楽しめることをしてください。

私の人生の選択は「自分の心に素直に」を心がけていました。個人的には「自分の心に素直に」選択する方法として「具体的に興味があることへ突き進む」と「嫌でないか、面白そうかで選択する」の2通りの方法があると考えています。私は一貫して後者の方法で選択を行ってきました。「嫌でないか」という選択基準は一見後ろ向きに思えるかもしれませんが、物事を長く続けるうえで重要な要素であると考えています。

具体的な選択を振り返ると、高校で理系を選んだ理由は、国語や英語が得意でなく理科や数学が好きだったからです。大学進学時に電気電子系を選んだです。これまで「自分の心に素直に」「嫌でないか、面白そうか」で選択してきた結果、現在楽しく仕事をしているので、私に合った選択方法であると思っています。

これから様々な選択をする中で、選び取りたい道に対してしり込みしてしまうこともあるかもしれませんが、その要因が「女性の少なさ」であれば心配はいらないと考えます。愛媛大学には「サイエンスひめこ」という理系女子学生グループがあり、他分野の理系仲間ができますし、工学系において女性はまだまだ少数派ではあるものの、徐々に増えてきている実感を日々感じています。

大学で培ったコミュニケーション力が役立っています

法人向けクラウド音声サービスの企画・オペレーション業務を行っています。

新規事業の企画では社内または協業パートナーと様々な調整を行い、プロジェクトメンバーが一丸となってサービスリリースのために尽力しています。新規事業の企画では、誰も解を持っていない中で、どのように実現するか道筋を立てたり、ベストな方法を模索したりしなければならぬ点が難しい点であり、同時にやりがいを感じる点でもあります。

また、オペレーション業務では、サービスが円滑に問題なく提供できる

よう、ルーティン実務を確実に実行しています。同様の手順で定期的に実行するという地道なものです。質が担保されたサービスを提供するために必要不可欠な業務であるため、意義を実感できます。

私の場合専攻と畑違いの業界・職種へ就いたこともあり、具体的な研究内容というよりも、学科・大学院研究室で仲間と共に学べた経験、たとえば、研究室のメンバー同士で互いの研究の進捗について把握し合ったり、アドバイスを合ったりしたことが、現在のチームで仕事をするためのコミュニケーションに活か

せていると思います。

一人でできる仕事は限られています。が、複数人でチームとして動けることで、人数以上の何倍もの利益を生み出すことができるので、チームワークの根幹にあるコミュニケーションを大学で実践しながら学べたことは、仕事に大きな効果をもたらしたと思っています。

中高生の時点で、将来やキャリアの理想を具体的に思い描ける人は少ないと思います。しかし、どのようなことをしたいか、何に興味があるか、人生において何を大切にしたいか、反対にあまりしたくないこと等、気軽に考えてみる時間を

理工学研究科 生産環境工学専攻
環境建設工学コース 2020年度入学
勤務先：ソフトバンク

上申舞花さん



Joko Maika

Onoyama
Ayame

小野山紋女さん

工学部情報工学科 2012年度入学

勤務先…今治造船株式会社
経営企画本部 設計システム開発グループ
設計システム開発チーム

情報系は、人と関わる仕事

船を設計する人に、システム面からサポートをする仕事をしています。CAD で設計をする時に、一発でいろいろなことができるようになる「便利ボタン」をつくるイメージです。

情報系というかと黙々と作業するイメージがあるかもしれませんが、パソコンの前に座っているだけでなく、しっかり人と関わる仕事でした。システムづくりは、使う人の話を聞いて理解して、解決策をわかりやすく提示する仕事なので、「伝える力」がすごく大事だと実感しています。

相手の方から感謝の言葉を直接いただいたり、頼ってもらえたり、役に立っていることに、やりがいを感じています。自分が関わった船が海を走っているのを偶然見た時には、嬉しくて写真をいっぱい撮ってしまいました。

小さい頃は、本を読むこと、博物館に行って鉱石や恐竜を見ることが好きでした。でも、暗記が必要な「生物」は苦手で、やり方を覚えればよい「物理」「数学」が得意でした。高校を卒業する頃にはスマホが台頭してきて、これからは情報の時代だろうと考えて、情報系に進みました。この考えは正解で、情報系は社内でも重要視されています。

造船業はずっと紙の文化でしたが、ペーパーレス化が進められ、社内でも業務最適化要求の早期実現を目的に、DX 推進室が発足しました。設計に 3DCAD を使うことが一般化してから 10 年以上が経過しますが、ここ数年は一気に AI の活用が盛んになり、ChatGPT を業務で使うことも増えてきました。私も web セミナーなどに参加し、社会人になってからも日々勉強中です。

大学の頃は、学部には女性が少なかったですが、好きなことを勉強できていたのと、私は地元出身で学部や学科の違う友達が多くいたので楽しかったです。

システム屋には面倒くさがりが向いていると思います。私も、こうすれば少しでも楽になると考えて、現状を改良して工夫するのが好きです。得意・好きだからできるけれど、嫌々やるものは、いずれ続けられなくなります。自分は何が好きか、何に興味があるかを見つけ、大切に

平重寛子さん

理工学研究科 電子情報工学専攻
電気電子工学コース
2018年度入学
勤務先：中国電力ネットワーク株式会社
制御通信部 中央通信所

選択の基準は、嫌でないか、面白そうか

私は電力保安通信網（通信回線）の運用を担当しています。送配電事業者において通信回線は電力系統保護や電力系統の情報収集するために用います。そのため電力系統を健全に運用するためには通信回線の適切な運用が必須で、「自分の仕事が電力の安定供給に貢献している」というやりがいを日々感じながら仕事をしています。

理由は、複数ある分野候補の中で自分の苦手そうな分野を除外した上で、面白いと感じていた物理分野の知識を生かせる分野であったからです。ただし、大学院での研究が電気電子系では珍しいパイオ系の研究で、パイオ系は私の苦手分野だと思っていたのですが、いざ研究を始めると想像した以上の面白さであったので、先入観を持ちすぎないことも大切



Hirashige
Hiroko



チャレンジ

愛媛大学工学部の学生が喋る
ためになる「あれ」「これ」

はるかさん（愛媛県出身）	2020 年度入学	工学部 工学科 機械工学
れいかさん（北海道出身）	2022 年度入学	工学部 工学科 材料デザ
ほのかさん（広島県出身）	2023 年度入学	理工学研究科 理工学専攻
ゆうりさん（愛媛県出身）	2023 年度入学	理工学研究科 理工学専攻



るりさん

工作好きや実験好きが多いかも？

りなさん：私は小さい時から工作が好きで、NHK・Eテレで放送していた工作番組「つくってあそぼ」が面白くて好きでした。

はるかさん：算数と図工が好きで、絶対理系って決めて

いました。

ほのかさん：私は化学実験が好きで、化粧品の開発をやりたいから就職には工学部が有利かなと思いました。実際、その方面に進む予定です。

れいかさん：プログラミングがやりたくて高専に進んだけど、やってみると設計や図面を描くほうが好きだと気づき、機械系に進みました。3Dプリンターを使った時に材料が面白そうと感じて材料のコースがある愛媛大学に編入しました。

ゆうりさん：私は、理系は苦手で文系の成績の方がよかった。でも、橋とか働く車が小さい頃から好きで、土木系に進みました。暗記は得意なので式を丸暗記して頑張っています。

こうたろうさん：スポーツをするために工業高校に入ったので、成り行きで理系になったんだけど、工学はとくに生活につながっていて身近なので、やっているうちに面白くなりました。工学に進んでよかったと思います。

研究いろいろ、研究室もいろいろ

ほのかさん：蛍光ペンや有機ELなどに使われる蛍光化合物に関する研究をしています。色が目に見えるのが楽しいです。研究室ではスケジューリングやまとめ方など、社会に出てから役立つことを学べた気がします。

ゆうりさん：私の研究は、1万年後とか、長期的な廃棄物処理場の岩盤の安全性を保つための研究です。ほのかさんと違って、目に見えるのはシミュレーションした数字のみだから、羨ましい。

れいかさん：私は腎臓病の新しい治療法をバイオ系の実験で試しています。3日間くらい3時間

おきに確認していくので、時間がとられて大変です。

りなさん：私は自然言語処理の勉強が面白くて、今の研究室を選びました。難しい日本語を簡単な日本語にする人工知能を作っているのですが、機械学習は時間がかかるので忍耐力を鍛えられています。

はるかさん：県産材の木製パレットの強度を調べています。自分で設計をしてパソコンで解析をかけるのですが、ポチっと押したらすぐ完了！早い時は5分で結果が出るので、全く違いますね。

こうたろうさん：スマホの顔認証等で使う半導体の研究をやっています。手広くいろいろできるのが面白いです。

るりさん：同じ電気電子工学でも研究室が違うのでこうたろうさんとは全く違って、機械学習を使って安全性の高い送電線を効率よくつくる研究をしています。

学会の後の交流では、みなさん研究に対する熱い思いがあって、その話に触れられるのが、楽しいです。

ゆうりさん：留学生が半数くらいいる研究室に所属しているので、どこかに遊びに行くときは、英語で話しています。人に伝える力がついたかな？

その気になれば、体験できることも多い

れいかさん：一人暮らしをやってみて、親のありがたみがすごくわかりました。

るりさん：バイトができるようになって、自分で稼いだ

お金で、自由に旅行にも行けるようになったのが高校の頃との違いかな。

ゆうりさん：短期交流プログラムでインドネシアに1ヶ月短期留学したり、マレーシアからも逆に留学生が来て交流したり、国際交流の機会が多くあります。

ほのかさん：私も、もっと英語を勉強したいと思っていたんですよ。愛媛大学には、英語に特化した授業・コースがあったので、それに参加して、すごく勉強に



ゆうりさん



れいかさん

コース	るりさん（愛媛県出身）	2023 年度入学	理工学研究科 理工学専攻 社会基盤プログラム
イン工学コース	りなさん（広島県出身）	2020 年度入学	工学部 工学科 コンピュータ科学コース
産業基盤プログラム	こうたろうさん（愛媛県出身）	2022 年度入学	理工学研究科 電子情報工学専攻 電気電子工学コース
社会基盤プログラム			



ほのかさん

なりました。愛媛大学では、手を挙げれば引き上げてくれる仕組みがたくさんあるのがありがたいです。熱意には熱意で返してくれるので、安心して、とりあえずやってみてほしい。

キャンパスが街中にあるのが最高！

はるかさん：大学では空きコマがあって、1コマ空くと街に行ってお店で友達とおしゃべりしたりして、リフレッシュできる時間が結構楽しい。

ほのかさん：でも、4年生になると毎日9時から17時まで学校に行くことになる。

ゆうりさん：コアタイムがある研究室もあるよね。就職したら 毎日お仕事に行かなければならないから練習になるよ。

はるかさん：あと、山の中にある大学だと周りに何もなないらしいけど、愛媛大学は自転車でもどこにでも行ける。

りなさん：家と大学が近くて通いやすいし、街中にあるから、ご飯を食べに行ったり、新しい店を開拓したり、遊びと勉強が両立できる。

れいかさん：隣の松山大学と合同で一緒にサークル活動したり。他大学なのに日常的に近い距離で交流できて、知り合いがすごく増えました。

コースを超えたつながり、女子が少なくても大丈夫

るりさん：1年生のときは、コースが専門分野に分かれていないので、電気電子コースの授業を受けてみたら内容も先生も面白かったの、電気電子を選びました。自分の興味の方向を確かめてからコースを選べたのがよかったです。

はるかさん：私も1年間猶予があるのはすごくありがたかった。建築関係に興味があったのですが、授業の登録の時に自分の好きな授業を選んだら、それが全部機械の授業だったので、私は機械に興味があるんだって気づけました。

れいかさん：いっぱいコースがあるので、入っちゃえば、何かしら興味を持てる分野が見つかるかなと思います。

るりさん：工学部全体で受ける授業があることで、他のコースに行きたい女子とも接点があって今も仲良



くしているの、そういう機会があってよかったです。

こうたろうさん：今の2年生は女子が8人で増えたけど、自分が入学した時は 90 人のうち1人だけ女子だったから、自分の周りの男子たちで、その学生さんに積極的に声をかけて仲間になって、今は普通に飲み会とかにも行く同期という感じ。

ほのかさん：女子は人数が少ないからこそ覚えてもらえるし、気にかけてもらえる。

れいかさん：編入だったから、年下の男子に混じって化学実験などやっていたんだけど、男女関係なくいろいろ助けてくれた。レポートを出すのもグループLINEで協力しながらやれて、すごく助かりました。

りなさん：自分も心配だったけど、すぐに女子の友達もできたり、今は男子とも普通に話しています。もし、女子がいなくても、サークルに入ったら友達はできるので心配ないです。

るりさん：男女関係なく、ご飯も行くし、相談もできるよね。

ほのかさん：理系はオタクで暗いイメージを持っている人もいるかもしれないけど、全くそんなことはないし、どこの会社も理系女性の数を増やしているの、女性には有利だと思います。やりたいことは我慢せずに、好きなことをやりましょう！

私たちが工学女子のみなさんをサポートします！

朱 霞（ツウ・シャー）

愛媛大学大学院理工学研究科 教授

私も愛媛大学工学部機械工学系分野のOGです！

郡司島宏美（ぐんじしま ひろみ）

愛媛大学大学院理工学研究科 准教授
工学共通基礎科目を担当しています！

こうたろうさん



はるかさん



campus life

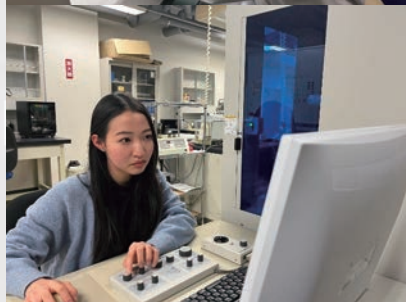
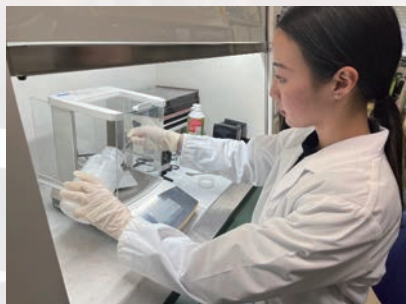
▲インドネシアへ留学していた時の写真です。
現地の友人と世界遺産「ボロブドゥール」
へ行きました。



研究室で実験をしている様子。



▲実験室で実験している様子。ほぼ週に1度のペースで実験。実験
後は、結果データを分析センターで分析もしています。



▲イギリスのウェールズ留学中に
ウェールズの昔の衣装を着て撮った写真。



趣味のお菓子作り(上)と
趣味のカメラ(右)。



▲ラクロス部のチーム
スタッフとして、部
員にテーピングを巻
いたりします。



◀卒業式の様子。

▶電気・電子・情報関係学会に
行きました。



愛媛大学 工学部 / 790-8577 愛媛県松山市文京町3番

【発行/事務連絡先】 愛媛大学 工学部 事務課 学務チーム

T E L 089-927-9690 E-mail kougakum@stu.ehime-u.ac.jp

<http://www.eng.ehime-u.ac.jp>

【制作】CM食堂有限会社

愛媛大学工学部の公式サイトです。
工学部の教育コース、入試、研究者
などの情報をご案内します。



工学部公式インスタグラム
「工学部の日常 | 愛媛」

